

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令で定められている利用者一人当たりの面積2.47㎡以上を遵守している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		人員基準は満たしているが、利用人数が定員に近いと足りないと感じ活動が限定されるときがあるので増員を検討している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所内は、すべてバリアフリー化されており、各部屋の環境もできるだけこどもに分かりやすい配置となるよう創意工夫し設備も整えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、各部屋の清掃を行なっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静養室や相談室を使用し、こどもの状態に応じて個別での対応を図っている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議や日々のサービス前後を通して参画している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の方の意見をもとに改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議や年に3回各職員にチャレンジシートを記入してもらい、面談を実施し、目標に対する達成度や意見、相談を受けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状では実施の予定はないが、今後は必要に応じて実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法で定められている研修を事業所内で行なっているほか、個別研修計画に基づき外部研修を受講させている。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		標準化されたアセスメントツールを使用し、個々のニーズや課題を基に計画を作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		月に一度必ず職員会議を実施し、各こどもの情報共有を図り共通理解した上で支援している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成時から共有し、できるだけ計画に沿った支援に繋がる活動を提供している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	標準様式を使用し、そこから必要な支援を導き出している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的な支援内容を設定し、記載している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		主に児発管が活動案を出し、職員間で検討して決めている。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節に応じた活動や各イベントを月ごとに計画し提供している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別、集団を組み合わせ、子どもの状況に合わせた計画を作成している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日必ず行なって確認している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日ではないが、反省点や課題、今後の支援方法等を話し合っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		正確にその日の様子や変化、今後の課題等が分かる表現や書き方を日々指導している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも半年に1回は見直しをし、必要に応じて計画の変更を行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		今後も活動に偏りが出ないよう総則の基本活動を踏まえて支援を検討していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		買い物学習等の活動を通して、自己選択や自己決定する機会を設けている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に管理者兼児童発達支援管理責任者が参画している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各関係機関と連携を図っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時や電話連絡、サービス担当者会議を通して情報共有を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援事業所等の関係機関を通して情報共有を図っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	担当者会議の中で提供する場合やそれ以外で訪問があった時に情報共有をしている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	限られた職員ではあるができるだけ調整を図り参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	現時点では機会を設けていないが、今後は検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	限られた職員ではあるができるだけ調整を図り参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や電話連絡を通して様子を伝えている。また保護者の方のニーズを踏まえて支援計画を作成している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	送迎時や電話連絡を通して必要に応じて行っているが、十分とは言えない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や更新時の他に、送迎時やその都度ご相談をお受けした際に行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時や各面談を通し、家族の意向を確認しサービス提供を行なっている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を行ない、同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時を中心としたやりとりの中で、保護者の悩みの理解に努めているが、よりサポートしていけるよう親身になって助言していく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	現在法人内で保護者会の活動はされていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		法人内で苦情窓口を設置し解決・受付担当者の配置は勿論のこと、場合によって第三者委員立会のもとの協議会開催の体制を整えている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月事業所便りを発行し日々の活動内容や行事予定を発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員入職時に個人情報漏洩の禁止について誓約書を書いてもらっている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		出来るだけ分かりやすい表現を用いて口頭で伝える工夫をしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現時点では機会を設けていないが、今後は検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し職員間では周知しているが保護者の方へは十分とは言えないので、今後周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練を実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約前には口頭で、契約時にはアセスメント表に記載してもらい、それを用いて職員間で確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	アレルギーを把握し、対応が必要な場合は委託先の栄養士に相談している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を実施しており安全管理が十分された環境で支援している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		十分とは言えないが、周知している。
	52		○	ヒヤッパットを事業所内で共有し、再発防止	事故に繋がりそうな事案があった際、報告書を作成し、スタッフ間で情報を共有している。作成した報告書はフォルダにつづり、職員がいつでも見られるようにしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員会議では毎回防止策について確認し合っている。外部研修にも出来る限り参加している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		基本的に身体拘束を行なわない方針でいる。

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス ていんくる開西		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 26 日 ～ 2025年3 月 5 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年2 月 26 日 ～ 2025年3 月5 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3 月 21 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 戸外活動を中心に季節に応じた取り組みの展開。	・ 戸外活動では、四季に応じて様々な環境での活動を提供している。春季・夏季（公園遊び・散歩・水遊び・BBQ・収穫作業） 秋季・冬季（栗拾い・焼き芋・雪遊び・そり滑り）	・ 事業所移転をきっかけに、環境の選択肢が増えたので、新たな取り組みを支援者全員で検討していく。また、社会適応の為のルールやマナー、立ち振る舞い等も更に学んでいけるよう、事前指導や場面ごとの関わりで伝えていく。
2	・ BADLやIADL向上を目標とした活動プログラムの実施。	・ 毎日の当番制でのお手伝い。（食器洗い・すすぎ・拭き）（机拭き・モップ掛け・トイレ掃除等）公共の場で実際のお金を使用した買い物学習。	・ 継続する活動の他に、調理や収穫活動の機会を増やしていく。環境やスケジュール調整を図りながら、公共の場での経験の積み増しや将来に必要な動作獲得に繋がる活動を工夫しながら提供していく。
3	・ チャレンジシートを活用し、年3回の職員面談の実施。	・ 各職員の目標設定が個々に合ってるかの助言等を普段の業務姿勢を振り返りながら伝え方に留意して行なうこと。	・ 相談を受けるだけではなく、普段の現場にできるだけ各職員と共に業務し、些細な変化への気づきメンタル面でのケアも行える環境を作っていく。また、そこから課題を抽出することで、一緒に考えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 特性の強い利用者様へのサービス内容が固定化されてしまいがちな部分。	・ こだわりが強く、新たな活動に対し拒否感を示し中々受け入れることが難しいこともあるが、職員間での検討も不足している。	・ 毎月の職員会議や担当者会議を通じて個々の特性に合った支援内容を構築し、実施していく。
2	・ 活動計画の立案が特定の職員に限られること。	・ 職員間でのコミュニケーション不足や経験値にばらつきがある為。	・ 特定の職員だけではなく、支援に携わる職員全員が発達支援に関する研修を受講して学び、知識向上を図っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

放課後等デイサービス ていんくる開西

公表日 2025年3月28日

利用児童数 2025年3月1日現在 1 6 世帯 1 8 人 回収数 11

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7			4	何人で把握しているのか分からない。	事業所移転に伴い、重要事項説明書を用いて丁寧に説明していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	3		2	時折、情報伝達されていなかったり、忘れ物を把握していないことがあると感じる。	SNS等も積極的に活用しながら、情報共有・伝達の更なる徹底を図っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	2		2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8			3		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6		3	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	1		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	2	3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6		1	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ていんくる開西				
		公表日 2025 年 3 月 28 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令で定められている利用者一人当たりの面積2.47㎡以上を遵守している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		人員基準は満たしている。	利用人数が定員に近いと足りないと感じ活動が限定されるときがあるので増員を検討している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所内は、すべてバリアフリー化されており、各部屋の環境もできるだけこどもに分かりやすい配置となるよう創意工夫し設備も整えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、各部屋の清掃を行なっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静養室や相談室を使用し、こどもの状態に応じて個別での対応を図っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議や日々のサービス前後を通して参画している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の方の意見をもとに改善に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議や年に3回各職員にチャレンジシートを記入してもらい、面談を実施し、目標に対する達成度や意見、相談を受けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現状では実施の予定はない。	今後は必要に応じて実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法で定められている研修を事業所内で行なっているほか、個別研修計画に基づき外部研修を受講させている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		標準化されたアセスメントツールを使用し、個々のニーズや課題を基に計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		月に一度必ず職員会議を実施し、各こどもの情報共有を図り共通理解した上で支援している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成時から共有し、できるだけ計画に沿った支援に繋がる活動を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	標準様式を使用し、そこから必要な支援を導き出している。	職員の意欲や理解度に差があり、支援に偏りがみられるので、密な協議を重ねて相互理解を深めていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		具体的な支援内容を設定し、記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		主に児発管が活動案を出し、職員間で検討して決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節に応じた活動や各イベントを月ごとに計画し提供している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別、集団を組み合わせ、子どもの状況に合わせた計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日必ず行なって確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日ではないが、反省点や課題、今後の支援方法等を話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		正確にその日の様子や変化、今後の課題等が分かる表現や書き方を日々指導している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも半年に1回は見直しをし、必要に応じて計画の変更を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○		今後も活動に偏りが出ないよう総則の基本活動を踏まえて支援を検討していく。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		買い物学習等の活動を通して、自己選択や自己決定する機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に管理者兼児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各関係機関と連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時や電話連絡、サービス担当者会議を通して情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援事業所等の関係機関を通して情報共有を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	担当者会議の中で提供する場合やそれ以外で訪問があった時に情報共有をしている。	要望があった場合に提供してきたが、こちらから積極的に行えていない為、今後は対象者は必ず提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	限られた職員ではあるが参加している。	今後は従事している職員に、できるだけ調整を図り参加してもらう。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	現時点では機会を設けていない。	今後は必要に応じて実施を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	限られた職員ではあるが参加している。	今後は従事している職員に、できるだけ調整を図り参加してもらう。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や電話連絡を通して様子を伝えている。また保護者の方のニーズを踏まえて支援計画を作成している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	送迎時や電話連絡を通して行っている。	十分とはいえないので、より詳細に丁寧に情報提供していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や更新時の他に、送迎時やその都度ご相談をお受けした際に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		送迎時や各面談を通し、家族の意向を確認しサービス提供を行なっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を行ない、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時を中心としたやりとりの中で、保護者の悩みの理解に努めているが、よりサポートしていけるよう親身になって助言していく。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	現在法人内で保護者会の活動はされていない。	今後は必要に応じて交流する機会を設けることを検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		法人内で苦情窓口を設置し解決・受付担当者の配置は勿論のこと、場合によって第三者委員立会のもと協議会開催の体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月事業所便りを発行し日々の活動内容や行事予定を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員入職時に個人情報漏洩の禁止について誓約書を書いてもらっている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		出来るだけ分かりやすい表現を用いて口頭で伝える工夫をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現時点では機会を設けていないが、今後は検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し職員間では周知している。	保護者の方へは十分とは言えないので、今後周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約前には口頭で、契約時にはアセスメント表に記載してもらい、それを用いて職員間で確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーを把握し、対応が必要な場合は委託先の栄養士に相談している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を実施しており安全管理が十分された環境で支援している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		十分とは言えないが、周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事故に繋がりそうな事案があった際、報告書を作成し、スタッフ間で情報を共有している。作成した報告書はフォルダに	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員会議では毎回防止策について確認し合っている。外部研修にも出来る限り参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		基本的に身体拘束を行わない方針でいる。	